

まちなかにある視覚障害者にとってのバリアを 体感してみませんか？

バリサポみやぎ

バリアフリーな社会を作り上げることの重要性は、広く理解されるようになってきましたが、様々な障害を持つものにとって、まちなかには多種多様なバリアがあるのが現状です。

まちなかのバリアを無くしていくためには、それぞれの障害を持つものにとって何がバリアとなるかを、皆に広く知ってもらうことが必要だと思います。そこで、視覚障害者、建築家、研究者、福祉関係者、眼科医など、視覚障害に関わる様々な立場のものがあつまって結成された任意団体「バリサポみやぎ」では、アイマスクやロービジョン体験ゴーグルを用いて、仙台市内の視覚障害者にとってのバリアを参加者に体感してもらおうというワークショップを企画しました。

視覚障害者にとってのバリアを体感し、まちなかからそれらを無くしていく方法を、一緒に考えてみませんか？



日時：2018年5月20日 9:30～12:30

(申込締切：5月16日 17:00)

会場：サポセン(仙台市市民活動サポートセンター)

会費：500円(資料代+会場費)

主催：バリサポみやぎ

連絡先：nagahata@sss.fukushima-u.ac.jp

<申し込み方法>

上記連絡先まで、「氏名」と「緊急連絡先」を明記したメールを送ってください。メールの件名を「バリサポ」としてくださると、とても助かります。